2026 年 11 月 5 日

各位

株式会社ドリーム・アーツ

ナブテスコ、全社の意思決定基盤を SmartDB で刷新、外部委託コストを約 50%削減
～100 パターン超の複雑な権限管理をノーコードで実現、既存のワークフローへも展開予定～

大企業向けクラウドサービスの株式会社ドリーム・アーツ（東京本社：東京都渋谷区、広島本社：広島県広島市、代表取締役社長：山本 孝昭、以下 ドリーム・アーツ）は、ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木村 和正、以下 ナブテスコ）が、新稟議システムとして大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**（スマートデービー）」を採用したことをお知らせします。 同社は当該システムの採用により、2026 年 7 月の運用開始から約 3 ヵ月で、システム改修にかかる外部委託コストを従来比約 50%削減しました。

100 パターン超の複雑な権限管理をノーコードで実現し、現在約 1,500 人が利用しています。今後は、社内で稼働している既存のワークフローについても、**SmartDB®**への移行を予定しています。ナブテスコは、全社稟議を起点に **SmartDB®**の活用範囲を広げ、事業成長を支える経営スピードの向上を目指します。

■SmartDB 導入の背景：事業拡大に伴う全社の権限管理の複雑化が課題に

ナブテスコは、独創的なモーションコントロール技術で、生産現場の自動化や陸海空の安全・安心・快適な移動を支える機械コンポーネントメーカーです。 中大型産業用ロボットの関節用途向けの精密減速機では世界市場シェア約 60%、建物用自動ドアでは国内市場で約 60%のシェアを有しています。

ナブテスコが 10 年以上にわたり運用してきた全社稟議システムでは、事業領域の拡大や国内外のグループ体制の変化に伴い、権限管理が複雑化していました。 これらに対応するためオンプレミスのシステムに個別開発を重ねた結果、パフォーマンスが低下。 改修や機能追加にかかる外部委託費用や対応期間、仕様を把握する担当者への依存も課題となっていました。

アプリケーションの保守サービス終了を機に、ナブテスコは外部ベンダーへの依存を抑え、社内で継続的に改修できるクラウドサービスへの移行を決定。 複雑な権限管理に対応でき、将来的に全社の共通基盤として活用できることも重視し、**SmartDB®**を採用しました。

■SmartDB 導入の成果：全社の決裁プロセスを再構築、変化に追随できる基盤へ

ナブテスコは、グループ会社や組織ごとに異なる 100 パターン超の複雑な権限管理を、SmartDB®によりノーコード開発で構築しました。 2026 年 7 月に運用を開始し、全社へ展開。現在は約 1,500 人が利用するシステムとして安定稼働しています。 運用開始後の機能追加や改修は、情報システム部の担当者が主体となって対応しています。 組織変更や決裁ルールの見直しがあっても、外部ベンダーに頼らず社内で迅速に設定を変更できるため、事業や組織の変化に合わせて継続的に改善できる体制が整いました。 システム刷新と改修の内製化により、次のような成果が表れています。

- システム改修にかかる外部委託コストを従来比約 50%削減
- 画面表示や検索の応答速度が従来比約 2 倍に向上
- 申請テンプレートの活用により、入力工数を削減
- マスタ参照により、表記揺れや入力ミスを削減

■SmartDB の選定理由：複雑な業務に応える柔軟性と内製のしやすさを評価

ナブテスコの情報システム部は複数のノーコード・ローコード製品を比較し、PoC（概念実証）を経て SmartDB®を採用しました。 主な評価のポイントは次のとおりです。

- **複雑な決裁プロセスを標準機能で実現する柔軟性**
  100 パターン超の複雑な権限管理を、個別開発に頼らず完全ノーコードで柔軟に構築できること。
- **開発者・利用者双方にとっての高い操作性**
  開発担当者が直感的に構築・改修でき、利用者もマニュアルに頼らず操作できるユーザーインターフェースを備えていること。
- **大企業の全社利用に耐えうる信頼性**
  全社の意思決定情報を扱う稟議システムに求められるセキュリティ水準を満たし、大企業での導入実績が豊富であること。
- **内製で進化し続けられる拡張性**
  情報システム部による改修に加え、将来的には業務部門によるアプリ開発など、市民開発へも広げられること。

■今後の展望：既存のワークフロー移行など、全社業務基盤として活用を拡大

ナブテスコは全社稟議システムの構築を通じて、SmartDB®が複雑な業務にも柔軟に対応でき、幅広い業務に活用できることを確認しました。 今後は社内で稼働している既存のワークフ

ローについても順次 **SmartDB®**へ移行を進める予定です。 あわせて、生成 AI 機能「**SmartDB Practical AI®（PA）**（※1）」を活用した申請時の入力補助なども検討しています。

中長期的には、現場担当者が自ら業務アプリを構築・改善できる環境を整え、全社で継続的に業務変革を推進する体制の構築を目指します。

※1 SmartDB Practical AI®（PA）オプション提供開始プレスリリース
https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/news/press-release/in260409/

■ナブテスコ株式会社 情報システム部長 枝川 文彦 氏からのコメント

当社は 10 年以上にわたり全社稟議システムを運用してきましたが、度重なる改修によるシステムの複雑化や、外部ベンダーへの依存度が高まることで、利用者からの要望への対応スピードが課題となっていました。

この課題を解決するため、ノーコードで柔軟かつ自社で改修可能な操作性を備えた「**SmartDB®**」を採用しました。 刷新にあたってはドリーム・アーツ社の伴走支援のもと内製化を推進し、開発ノウハウを蓄積しました。 その結果、運用開始後は利用者からの要望にもスピーディーに応えられるようになりました。 今後は本システムを全社の業務基盤へと発展させていきたいと考えています。

ドリーム・アーツは、今後も“協創”を理念に掲げ、「現場力強化」「企業競争力向上」に役立つトータルソリューションを提供してまいります。

■当社連結業績への影響

本件による連結業績に与える影響は軽微であります。 今後、業績予想を変更すべき事象が生じた場合は速やかに発表させていただきます。

SmartDB®（スマートデービー）について　https://hibiki.dreamarts.co.jp/smartdb/

SmartDB®は、大企業市場シェア No.1 (※2) の業務デジタル化クラウドです。 現場個別の業務から全社横断業務までノーコードで開発可能。 ワークフローと Web データベースを中心に多彩な機能をもち、柔軟な外部システム連携、きめ細かな権限管理、高度なセキュリティ要件にも対応しています。 三菱 UFJ 銀行や KDDI、ツルハホールディングス、筑波大学など、大企業を中心にあらゆる業種業態のユーザーが利用中です。 サービス基盤としてマイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」を採用し、利用規模の変化やコンテンツの増加にも柔軟に対応できる環境を実現しています。

※2　テクノ・システム・リサーチ「2025 年 SaaS 型ワークフロー市場メーカーシェア調査」より（2026 年 4 月時点）

株式会社ドリーム・アーツについて　https://www.dreamarts.co.jp/

「協創する喜びにあふれる人と組織と社会の発展に貢献する」をコーポレート・ミッションに掲げるドリーム・アーツは、「協創」を自ら体現することで、顧客の真のソリューションパートナーとして総合的な課題解決をお手伝いしています。

主なサービスとして、大企業向け業務デジタル化クラウド「**SmartDB®**」、多店舗オペレーション改革を支援する「**Shop らん®**（ショップラン）」、大企業の働き方を変えるビジネスコックピット「**InsuiteX®**（インスイートエックス）」などのクラウドサービスを開発・提供しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ドリーム・アーツ　広報担当　金井、岡

〒150-6029 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3　恵比寿ガーデンプレイスタワー29F

TEL：03-5475-2501 / 090-9149-3958　E-mail：pr@dreamarts.co.jp

記載されている会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

©DreamArts Corporation.